神経内科

診療内容・専門分野

神経内科は、4 人の常勤医（鹿間、岡部、高橋、都甲）と山形大学第3内科神経学分野教授（太田）と公立置賜長井病院院長（栗村）で外来診療を行っています。

新患外来は火曜日水曜日木曜日午後です。再来は火曜日水曜日木曜日です。急性期患者については救命救急センターを介して受け入れています。

神経内科（脳神経内科）の担当する領域は、パーキンソン病、レビー小体型認知症、筋萎縮性側索硬化症、多系統萎縮症、重症筋無力症、多発性硬化症、多発性筋炎、筋ジストロフィーなどの神経難病が中心となりますが、急性期病院として、髄膜炎、脳炎／脳症、ギランバレー症候群の緊急入院治療が可能です。また脳神経外科／総合診療科と協力して脳梗塞／脳出血の内科的治療も担当します。

特殊治療としてボツリヌス治療外来（金曜日午後）があり、痙性斜頸、片側顔面痙攣、眼瞼痙攣、上肢／下肢痙縮のボツリヌス毒素治療を行います。神経生理検査（金曜日午前）では一般の神経伝導検査／筋電図の他、体性感覚誘発電位SEP、経頭蓋磁気刺激MEPなどが可能です。核医学検査では、パーキンソン病／レビー小体型認知症の鑑別に有用な DATscan、MIBG 心筋シンチグラフィーも毎週行っています。

ご紹介いただくにあたって

神経内科の新患診察では病歴聴取と神経学的診察が重要ですので、30 分以上の診察が必要です。火曜日午後／水曜日午後と隔週で木曜日午後あるいは午前の新患枠／院内紹介枠にて予約をさせていただいております。1-2 週先の予約になることが多いので急ぐ場合は外来までお電話ください。

なお、紹介時には他院での内服薬処方の確認も必要ですので、全ての内服薬持参かお薬手帳の持参をお勧めします。また同居されているご家族の同伴も頂けるとより詳細な情報がわかる場合があります。採血／MRI 検査などで診断結果は 2-4 週間後になることがありますのでご了承ください。